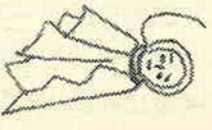


わがまちまごめ

発行 わがまち大田馬込地区推進委員会
事務局 馬込特別出張所

大田区中馬込3-25-5
☎ (3774) 3301(代)

子供たちの太平洋戦争



今年太平洋戦争が始まってから50年目にあたります。

最初は押しきみだった戦争もだいに分が悪くなり、サイパン島が米軍の手に落ちてから、東京をはじめ全国の都市にB29の空襲が激しくなり、

国の命令で学童疎開がはじまりました。

馬込小学校も昭和19年8月に戦火をさげ静岡県の焼津に疎開しました。

しかし焼津は米軍の上陸地と予想されたため、岩手県の盛岡市内に再疎開しましたが、釜石が艦砲射撃を受け、仙台も大空襲があり、盛岡市内も危

いとのことでの山の中の小山田村(現東和町)の瀧沢寺に再移動しました。

馬込小学校六年の学童男30女31名は、翌20年6月7日の早朝に焼津を出発して盛岡に向いました。5月の大空襲で、がれきの町と化した横浜を過ぎ、当時の品鶴貨物線で馬込を通過しました。今の新幹線と違いゆっくり

走る車窓から、なつかしい馬込を目のあたりにし、期せずして「まごめ!!」

夕方には品川駅に着き、ホームには両親が面会に来ていました。親と会うのも今日が最後となるのでは……と思ひ、女子は皆泣きましたが「男は涙

を見せるな」と教えられていた男子はぐっと我慢を

していました。しかし列車がホームを離れると涙が

目からあふれ、「泣いてない」と、よごれた手で顔を

を横なぐりに拭き、黒い線をつけた男子もいました。

翌8日の夕方、焼津から実に36時間の長い旅でした。

寺に移っても、しらみと空腹と淋しきの毎日でしたが、朝晩「がまんをしよう」「必ず元気でやり抜くぞ」と歌い、寺の本堂で蚕を飼ひ、繭から

取った糸で特攻隊のマフラーを作るのだと一生懸命でした。

昭和20年8月15日に終戦。11月には小山田村の瀧沢寺から、やっと馬込に帰ることになりました。

お世話になった瀧沢寺の文英和尚に、感謝の気持ちを込めて女の子が、

自分の洋服のはし布などで作った人形を寺に納めました。

文英和尚は、戦後、木箱を作り樟脳を入れかえ大切に人形を守り、毎年ひな祭りには本堂に飾っていたそうです。

このたび大田区が、来年3月に開催予定の学童疎開展にその人形が展示

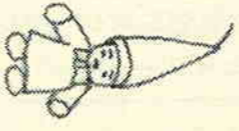
されることになり、46年ぶりに馬込の疎開児童たち

の作った人形が、岩手の瀧

沢寺から馬込に里帰りして

きました。

人形を作った人々は今58才になっています。



一人形馬込にかえるー

◎馬込今昔ものがたり(その二)

馬込長遠寺の歳の市

大正の末期から、昭和の15年位

まで、馬込の長遠寺の境内に、市

がたっていました。

毎年12月17日です。この日は、

長遠寺に祭つてある「鎌作観音」

の縁日に当たります。

この観音様は鎌で彫られたように

に見えるので、農業の守護神として

信仰されてきました。

そこで境内では豊具をはじめ、

年の瀬の品々を並べた露店が出て

夜半までにぎわいました。

ものでした。

赤い鼻緒の下駄武者絵のたて羽

子板など、子供の喜ぶ品々が売ら

れました。

神棚にそなえる大根注連や子供

の遊び道具を買いそろえて正月を

迎える準備をしました。

そして帰りに八幡様の近くの

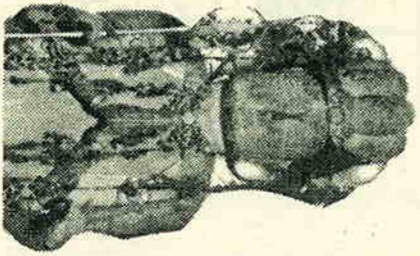
山崎屋、久保屋などで、おでんを

さかなにいっばいやるのも楽しみ

の一つであったそうです。

◎鎌作観世音 縁起

◎江戸名所図会



写真は長遠寺提供

まごめ情報

○『すいか』から『すいかの芽』

西馬込二丁目の棚村くたもの店

の店に飾つてあった『すいか』か

ら芽が出ました。どこまで大きく

育つか楽しみです。



◎龍子記念館 11月4日開館

青龍社から絵画94点51億円余、

版画46点15億円余の寄贈を受け、

区立の施設として開館しました。

◎綱引き(10月10日体育の日)

区民スポーツ祭りで18地区綱引

き対抗戦の結果、今年は残念なが

ら予選不通過でした。綱引き仲間

を募集。出張所までどうぞ。

◎祝長寿 馬込ベスト10

①99才南馬込二(女)池田 とめ様

②99才北馬込一(女)石原 キミ様

③98才南馬込四(女)上原 莛子様

④97才東馬込一(女)森谷 ふさ様

⑤97才南馬込五(男)小山 一郎様

⑥97才北馬込二(女)武 ミツ様

⑦97才南馬込三(男)新良雄 一郎様

⑧97才東馬込一(女)平賀 敏様

⑨96才中馬込一(男)村上嘉三郎様

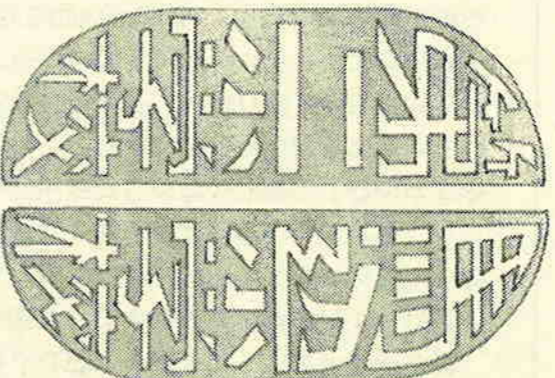
⑩96才西馬込二(女)久保田シゲ様
おめでとございます
いつまでもお元気で。



馬込には八つの学校があり中でも一番長い歴史を持ち、馬込第二小学校新設で四百名程移籍。14年には一八九名になり第三小学校新設。約七百名が移籍。19年に学童集団疎開、20年空襲で校舎八教室が焼け、帰って来た児童は万福寺を借りて授業を始めた。前の明治11年に、北越、森、金子の三私塾を合わせて、馬込小学校として開校しました。当初はかやぶきの三教室で児童もわずか85名。学校の設立と就学率を高めることは国の重大課題でした。明治12年の調査では、馬込村の学齢人数三六三人の内、就学人数は一〇七人となっていました。

馬込第二小学校は、今から60年前の昭和6年に、馬込小学校から分かれて設立されました。馬込が東京郊外の住宅地として開け、いわゆる「文化住宅」が畑の中に点在するようになったころです。設立当時は児童数二九五名、専科第一学年から第四学年まで、開校されたそうです。馬込小学校には遠く及ばないが、以来現在まで八三〇〇人余の卒業生を送り出しました。今も馬込に住む方も多く、二代、三代にわたる卒業生もいます。昭和30年前後のころは児童数が千名を超えていましたが、現在は

その後昭和6年に二七八名になり、馬込第二小学校新設で四百名程移籍。14年には一八九名になり第三小学校新設。約七百名が移籍。19年に学童集団疎開、20年空襲で校舎八教室が焼け、帰って来た児童は万福寺を借りて授業を始めた。前の明治11年に、北越、森、金子の三私塾を合わせて、馬込小学校として開校しました。当初はかやぶきの三教室で児童もわずか85名。学校の設立と就学率を高めることは国の重大課題でした。明治12年の調査では、馬込村の学齢人数三六三人の内、就学人数は一〇七人となっていました。



馬込第二小学校は、今から60年前の昭和6年に、馬込小学校から分かれて設立されました。馬込が東京郊外の住宅地として開け、いわゆる「文化住宅」が畑の中に点在するようになったころです。設立当時は児童数二九五名、専科第一学年から第四学年まで、開校されたそうです。馬込小学校には遠く及ばないが、以来現在まで八三〇〇人余の卒業生を送り出しました。今も馬込に住む方も多く、二代、三代にわたる卒業生もいます。昭和30年前後のころは児童数が千名を超えていましたが、現在は

その後昭和6年に二七八名になり、馬込第二小学校新設で四百名程移籍。14年には一八九名になり第三小学校新設。約七百名が移籍。19年に学童集団疎開、20年空襲で校舎八教室が焼け、帰って来た児童は万福寺を借りて授業を始めた。前の明治11年に、北越、森、金子の三私塾を合わせて、馬込小学校として開校しました。当初はかやぶきの三教室で児童もわずか85名。学校の設立と就学率を高めることは国の重大課題でした。明治12年の調査では、馬込村の学齢人数三六三人の内、就学人数は一〇七人となっていました。



現在も氏の手になるほのぼのとしたカットが入っています。先日、開校60周年記念のバザーが行われましたが、天候にも恵まれ、

戦後のベビークリームをなんとか乗り切り、その二世たちも順次卒業し、ある今、児童数は急激に減り、六五〇名となりました。

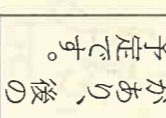
現在、校舎の改修工事が行われ、校舎の改修工事が行われ、多くの方が来場し、盛大な催しとなりました。

立ってくださって、ありがとうございます。お話をした。



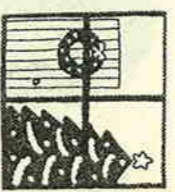
現在、校舎の改修工事中で、校庭の半分ほどが使えず、子供たちの四五〇名、学級数も現在の六年生以外は各二学級という小さな学校になりました。

昭和5年度から58年度の四年間野鳥観察にも造詣の深い漫画家の岩本久則氏が副会長をなさっていました。同校PTAの封筒には、現在も氏の手になるほのぼのとしたカットが入っています。先日、開校60周年記念のバザーが行われましたが、天候にも恵まれ、



戦後のベビークリームをなんとか乗り切り、その二世たちも順次卒業し、ある今、児童数は急激に減り、六五〇名となりました。

文芸云欄



俳句

九十九谷と古名の床し初しぐれ
 馬込には田舎家ありて花茗荷
 森岡 達吾

柿うれて源氏丸です馬込です
 加藤 正尚

短歌
 和泉会
 歳末の街あわただしパチンコ屋に
 未だに響く軍艦マーチ

川上一真
 うっすらと初雪かる富士山頂油
 絵のごとく車窓に写りて

林とみ子
 新樹会
 咲きつゞける冬薔薇の二三輪

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

俳句
 野村久雄
 咲きつゞける冬薔薇の二三輪

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

野村久雄
 上田恵美子
 柘のほかに薫る花こぼす

◎「わがまち まごめ」の提案
 続・ゴミの出し方

創刊号のゴミ集積所について、

ゴミを収集する側からもポリ容器

より紙袋の方が始末が簡単で衛生

的で良いのではないかと。又、いつ

までもポリ容器が散乱しているの

はいかがか、との御意見が寄せら

れました。

早速、大森清掃事務所に関ひ合

わせましたところ、ポリ容器で出

すことが一応原則になっています

が、最近では独身者や共働きの方々

は容器を片づけられない場合があ

るので紙袋に入れて出しても良い

ことになったそうです。

しかし、やはり紙袋で生ごみを

出すと、カラスや猫などに引きち

ぎられ散らかされる所も多く、で

きればポリ容器が望ましいとのこと

とでした。又ポリ容器は風に飛ば

されたりするので、各御家庭では

早めに責任を持って取り入れてい

ただきたい、とのことでした。

東馬込町会長の紋谷氏の

「街ぐるみ防災意識を高めよう、

は、今回は紙面の都合で掲載でき

ませんでしたが、機会を見て組みた

いと思えます。

「俳句・短歌

数多く御投稿いたゞきましたが、

紙面にかぎりがあり、止むを得ず

割愛いたしました。

あしからずおゆるしく下さい。

ありがとうございます。

◎お願い。

御投稿には必ず御記名ください。